

令和5年度 ケアハウスふるさと 事業計画

【運営方針】

「少しでも 長く元気で 自分らしい生活を」

【基本方針】

介護の原点に戻り、ふるさとの理念に基づいたサービスの質の向上に取り組む
安心して生活できる施設、安心して働ける職場を目標に、より良い人間関係の構築に努める

【年間目標】

- ① 稼働率の維持・向上（目標稼働率 97.5%）
- ② 重度化予防、フレイル予防の推進
- ③ 介護・医療・家族の連携
- ④ 事故発生の減少
- ⑤ より楽しい日常の提供

【実践計画】

- ① 稼働率の維持・向上（目標稼働率 97.5%）
 - ・入居希望者の情報をいち早く取得する為、同法人内地域包括支援センター、居宅介護支援事業所職員に空床発生予測を常に伝え希望者がスムーズに入居できるよう情報交換を行う
 - ・直ぐに入居を希望される方の入居待機場所として同法人内のショートステイ床を活用し、入居希望者のスムーズな入居に繋げる
 - ・ケアプラン作成の為のアセスメント時に室内環境に着目し、必要であれば居室への手すりの設置、福祉用具の購入を勧め転倒が起因による入院を減らす。
 - ・主治医との連携を密に行い早期受診・早期治療を行う事で入院を防ぎ稼働率の低下を防ぐ
- ② 重度化予防、フレイル予防の推進
 - ・各ご入居者の水分摂取量の把握を配茶時・配薬時・食事時に分けてチェックを行い、現状の1日の水分摂取量を把握。平均値から個々の摂取目標を設定し、最終的に摂取量 1500 ccを目指す
 - ・必要に応じて外部リハビリを活用し、更に動く機会を持つことでサルコペニアの状態になる事を防ぐ
 - ・転倒しても骨折をしない体作りを目指し喫食量・栄養状態に注視し、ALB 値 3.5 未満・BMI 値 18.5 未満の方がゼロを目指し、必要に応じて補食・栄養補助食品の導入を行う

③ 家族・医療・介護の連携

- ・受診時・往診時に内服薬の変更・検査データの提示があった際には随時ご家族に連絡し、現在の状況を漏れなく伝える事で信頼関係を保持する。
- ・入所時から看取りまで一貫した医療ケアを受ける事ができるよう、近医との連携を図り必要に応じて主治医の変更を行い、ご入居者が安心して生活ができる医療体制を個々に応じた形で提供する

④ 事故発生の減少

- ・発生した事故の統計をとり原因を追究。その上で対策・改善策を立案する。
- ・眠り scan のデータを日々活用し、夜間の睡眠・覚醒の状態を把握する事で本日の体調を把握し見守りの頻度を増やすことで室内での転倒事故を防ぐ。
- ・外部リハビリの担当者に福祉用具選定の意見を求め、個々の身体能力に応じた福祉用具を利用する事で移動時の転倒事故を防ぐ

⑤ より楽しい日常の提供

- ・現在 10 時 30 分に実施しているラジオ体操以降、昼食まで日替わりのレクリエーション等のプログラムを実施し、ご入居者が居室から出て過ごす機会を作る
- ・毎月実施している施設内行事に加え外出行事を毎月実施し、外部のボランティアを加え、毎日何らかの楽しみのある施設生活を提供する

(令和 5 年度勉強会予定)

4 月	事故対策（緊急時の対応）
5 月	接遇について（介護施設における接遇マナー）
6 月	感染症対策について（感染症発生時の対応シュミレーション）
7 月	高齢者に多い疾患について
8 月	事故対策（心肺蘇生・AED 使用方法の確認）
9 月	ケアプランについて（アセスメント・モニタリング）
10 月	防災について（防災設備使用方法の確認）
11 月	介護技術（移乗・ポジショニング）
12 月	感染症対策について（ノロ・インフルエンザ）
1 月	介護技術（点眼・服薬介助の注意点）
2 月	事故対策（心肺蘇生・AED 使用方法の確認）
3 月	認知症ケアについて